パブリック・コメントの実施結果（意見の公表）

1 案 件 名：平生町参加と協働のまちづくり条例（案）

2 募集期間：平成24年10月12日 ～ 平成24年11月12日

3 提出方法別提出人数と意見件数

提出方法	郵送	FAX	電子メール	持参	計
提出人数			1		1
意見件数			1		1

4 意見の取扱い

修 正	既掲載	参 考	その他
		1	

- ・修 正・・・案を修正したもの
- ・既掲載・・・すでに案に盛り込まれていたもの
- ・参 考・・・今後の参考としたもの
- ・その他・・・意見として伺ったもの

5 提出された意見の概要と平生町の考え方

意見No.	1
該当箇所	—
意見等の取扱い	参考
提出意見の概要	<p>必要以上の形容や修飾もなく、纏まった上質の条例だと感心しています。町の関係者と委員諸氏の研鑽とご尽力に敬意を表します。ありがとうございます。</p> <p>私は、第9条までは、基本方針あるいは前提条件のように思えます。勿論、どれも不可欠な項目で適切な条文だと考えます。</p> <p>この条例のこれからの課題は、第10条の「推進するための指針の策定」かと思います。第3項を杓子定規に解釈すれば、その指針に基づかない勝手連的なまちづくりを進めるのは、如何なものかとなるように感じます。施行がいつになるのかわかりませんが、施行後に策定し、またその指針に意見を求めるというステップを踏むのでしょうか。</p> <p>私は手続き的なことは知りませんが、条例案と同時に指針案を示すことはできないのでしょうか。そうすれば、まちづくり条例の必要性や具体像がイメージしやすいのではと考えます。もっとも、参加と協働の意識が希薄な多くの住民には、どっちでもいいことかも知れません。</p> <p>なお、第11条の「担い手の発掘及び育成」はとても大事なことで、この成否がこの条例の命運を握っていると思います。</p>
平生町の考え方	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>第10条第2項の「推進するための指針の策定」については、町が定める「参加と協働によるまちづくり」の方向性を示す指針であり、住民及び地域はこの指針に基づき、第3項に示します「地域の特性を生かしたまちづくり」として、地域共通の将来像を共有するため地域夢プランづくりを目指します。このプランの策定に向けて、取組みテーマや組織の体制は地域の意向で決めていきます。</p> <p>指針案については、現在策定中であり、条例の施行後に住民などの意見を聴き策定したいと考えています。</p> <p>本条例の施行については、平成25年4月を予定しています。</p>